

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 以和貴会

令和3年度 事業報告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

1. 運営方針

『安全そして安心』の基本理念の基に、利用者個人の尊厳を尊重し、利用者が有する残存能力や健康状態に応じた生活を営むことができるよう、『尊敬・感謝・奉仕』の気持ちを持ち、常に利用者の立場に立ったサービスを提供するよう努める。また、利用者が安心して、楽しく生活できるよう個別支援に努める。

2. 事業方針

(1) 介護支援

| | | |
|------|--|---|
| 基本方針 | 利用者及び家族のニーズを把握し、それに基づく個別のサービス計画書を作成するとともに、適切な介護支援を行い、利用者の生活の質が向上するように努める。 | |
| | 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| | 1. 個別のケアプランを担当介護員とともに多職種協働で作成する。 ・個別のケアプランを多職種協働で作成し、サービス内容を十分理解しながら適切な介護支援を行い、介護サービスの向上に努める。 | ※入所者個別のケアプランを担当職員と共に多職種協働で作成した。 ※入所者と関わる介護員や看護員との情報共有共通理解を深め、サービス内容の向上に努めた。 |
| | 2. 研修に参加しスキルアップを図る。 ・自らのケアプラン作成や実施状況について評価し、利用者の生活の質を高めるケアプランの作成、実施に努める。 ・介護支援専門員更新研修への参加や主任介護支援専門員取得の為の研修へ参加し、スキルアップに努める。 | ※介護支援専門員専門研修Ⅱに参加し、介護支援のスキルアップ、他施設職員との情報共有に努めた。 ※ケアプラン作成、実施状況を評価し、ケアプラン内容の向上に努めた。 |

(2) 生活相談

| | | |
|------|---|--|
| 基本方針 | 利用者一人一人に「その人らしい生活」を送っていただけるよう個別のニーズに柔軟に対応する。 | |
| | 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| | 1. 利用者が望む生活に少しでも近づけて、聖徳荘が「居心地の良い場所」になるよう努める。 ・集団生活の中でもその人らしさを尊重し、利用者の思いに寄り添う支援を目指す。 ・利用者や家族、施設に訪れる方から好感を持っていただけるよう丁寧な対応を心がける。 ・困りごとや相談があった際は、多職種と協力し良い援助ができるよう努める。 | ※積極的に利用者とのコミュニケーションを取り、利用者が望む生活に近づくよう努めた。 |
| | 2. 入所稼働率の安定化を図る。 ・利用者の高齢化や重篤化により入所期間の短縮が予想されるので、入退所の調整を円滑に行い稼働率アップを目指す。 ・新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、病院や他施設での実態調査ができないことがあるので、医療機関等とスムーズな連絡調整を行い速やかな入所に繋げる。 | ※大きな稼働率アップを目指したが、令和3年度も退所者が多かったこともあり0.3%のアップにとどまった。 ※新型コロナウイルス感染予防のため、思うように実態調査ができないことがあったが、医療機関等と連絡調整を密にし、速やかに入所ができるよう努めた。 |

(3) 健康管理

| | |
|------|---|
| 基本方針 | 利用者の健康状態を的確に把握するとともに嘱託医師との連絡を密にし、健康管理の徹底強化と疾病の予防に努める。 |
|------|---|

| 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
|--|--|
| 1. 利用者の健康状態の管理 ・医師、看護、介護の連携のもと、利用者一人一人のバイタルサインと体調のチェックを行い、早め早めの対応をする。 | ※医師、介護、相談員、ケアマネージャー、看護の連携のもと、一人一人のバイタルチェックと体調の変化に早め早めの対応をして利用者の健康管理に努めた。 |
| 2. 誤嚥の防止 ・食前体操を行い口腔機能を高めるとともに、経管栄養の利用者に対しても口腔体操を行い、誤嚥防止に努める。 | ※食前体操を行い口腔機能を高め、また、経管栄養者の利用者に対しても口腔体操を行い誤嚥防止に努めた。 |
| 3. 転倒の防止 ・機能訓練を行い筋力の低下を防ぎ転倒防止に努める。 | ※機能訓練を行い、筋力が維持出来るよう努めた。 |

(4) 給食

| 基本方針 | 利用者の健やかな老後のため、食を通じて健康の維持・増進を図り、季節の行事食などから楽しく豊かな食生活を過ごしていただく。 | |
|------|--|--|
| | 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| | 1. 健康の維持増進のため個々の適切な栄養管理を図る。 ・栄養ケアマネジメントを実施し、多職種とともに個々の利用者のリスク改善に努め健康の維持増進を図る。 | ※栄養ケアマネジメントを実施し、多職種の職員とともに入所者全員のリスク改善に努め、健康の維持増進を図った。 |
| | 2. 個々の生活の質の向上に努める。 ・個々の嗜好に合わせて代替食を提供し、月2回の行事食などから季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 | ※月2回の行事食を実施し、利用者の嗜好に応じた代替食の提供などにより、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただくよう努めた。 |

(5) 職員

| 基本方針 | 職員の健康管理に留意するとともに、職場内外の研修に積極的に参加し、専門職としての知識・技術及び資質向上に努める。 | |
|------|---|--|
| | 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| | 1. 専門職としての資質向上に努める。 ・各研修会に積極的に参加する。 ・資格取得に努める。 | ※動画による研修等により資質向上や資格取得に努めた。 |
| | 2. 健康管理に留意する。 ・定期健康診断の実施結果をもとに自己管理を呼びかける。 ・インフルエンザ予防接種を実施し、疾病の予防に努める。 | ※定期健康診断を実施し、体調の自己管理を呼びかけた。 ※新型コロナワクチン、インフルエンザワクチンを接種し疾病の予防に努めた。 |

(6) 苦情処理

| 基本方針 | 苦情に発展しそうなケース等の情報を共有し、苦情を未然に防ぐよう努める。また苦情発生時には迅速に対応する。 | |
|------|---|-------------------------------------|
| | 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| | 1. 苦情を未然に防ぐ。 ・利用者や家族等に対し不適切な言動や態度、不快感をもたらすような対応にならないように心がける。 | ※不適切な言動や態度等がないよう心掛け、苦情を未然に防ぐことができた。 |
| | 2. 苦情には誠実に対応する。 ・苦情発生時には迅速かつ誠実に対応し、情報の共有を図り再発防止に努める。 | ※苦情はなかったが、要望等があれば可能な限り対応するよう努めた。 |

(7) 事故防止

| | |
|------|---|
| 基本方針 | 「安全そして安心」な生活が送れるよう、利用者一人一人のリスクを考慮したサービスを提供する。 |
|------|---|

| 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
|---|--|
| 1. 適切なリスクマネジメントを実施して、環境を整える。 ・利用者一人一人に適正な介護サービスを提供し事故防止に努める。 ・ハード面での危険箇所を把握し事故防止に努める。 | ※事故のリスクマネジメントを行い事故防止に努めたが、骨折事故が2件発生してしまった。 |
| 2. 事故の再発防止に努める。 ・事故の原因を考察し、対策を検討して再発防止に努める。 | ※委員会や勉強会で事故の対策を検討し、再発防止に努めた。 |

(8) 施設防災

| 基本方針 | 火災や自然災害の発生を想定し、防災訓練を実施する。 |
|---|---------------------------|
| 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| 1. 防災訓練を実施する。 ・消防計画に基づき防災訓練を実施し、職員に対し防災に対する意識づけを行う。 | ※防災訓練を実施して防災に対する意識づけを行った。 |
| 2. 消防設備や非常食等の確認を行う。 ・消火器等の消火設備や緊急時において必要となる非常食などの点検を定期的実施する。 | ※消火器や非常食の点検を行い災害に備えた。 |

(9) 介護

| 基本方針 | 個々の利用者が安全でその人らしい生活が送れるよう、積極的な情報収集と問題解決に向け取り組み、日々のサービス提供に努める。 |
|---|--|
| 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| 1. 情報の共有 ・部署間、介護職員間の情報交換を積極的に行い、円滑なサービス提供が出来るよう努める。 | ※知り得た情報は、他部署介護職員間で共有し円滑にサービス提供ができた。 |
| 2. 介護技術の向上と改善 ・介護技術と専門知識向上のため研修に参加し、日々のサービス提供改善に努める。 | ※研修の参加はなかったが、業務の中で得た新たな知識と技術を共有し、介護技術の向上に努めた。 |

<各ユニット>

| ユニット | 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
|------|--|--|
| 山の都 | 1. 身体の清潔保持、感染予防に努める。 ・手洗い、消毒、うがいを徹底し感染を防ぐ。 | ※おむつ交換時の洗浄や入浴介助をして清潔な衣類を身につけていただき、清潔保持に努めることができた。 ※感染症対策として、手洗い等を重点的に実施し、換気を行い対応した。 |
| | 2. ADL（日常生活動作）低下の防に努める。 ・レクリエーション活動や機能訓練への参加を促す。 ・残存機能を維持できるような声掛け、介助をする。 | ※声かけを多く行いコミュニケーションを密に図った。レクリエーション活動やユニットでのお茶会に積極的に参加を促し、利用者同士のコミュニケーションが図れるよう対応した。自分でできることは意欲的に取り組んでいただけるよう声かけを行い、見守り、必要な場合は介助を行い、残存機能維持ができるようサポートできた。 |
| 季の都 | 1. ユニット内の環境整備に努める。 ・ホール及び居室内の整理整頓をする。 ・利用者の動線を確保し事故防止に努める。 ・季節に合わせた飾り付けをする。 | ※居室、タンス上、ホール内の整理整頓を行い、利用者の動線を確保し事故防止に努めた。 ※季節に合わせてユニット内の飾り付けを実施した。 |
| | 2. 清潔保持及び感染予防に努める。 ・おむつ交換、入浴介助を通して身 | ※利用者の状態観察を行い異常の早期発見に努め、多職種との連携を図った。 |

| | | |
|-----|---|---|
| | <p>体の変化に早期発見できるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一行為一手洗い消毒をし感染を予防する。 | <p>※手洗い、消毒を徹底し感染予防に努めた。</p> |
| 海の都 | <p>1. 身体の清潔保持及び感染予防の徹底。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣類の乱れ汚れに注意し、こまめに交換を行い清潔を保つ。 ・職員が感染症の媒介にならないよう手洗い消毒を徹底する。 | <p>※衣類の乱れや汚れに気を配り、清潔にして気持ちよく過ごしていただけるよう努めた。</p> <p>※手洗い消毒マスク使用を徹底し、感染症の媒介にならないよう努めた。</p> |
| | <p>2. ホール、各居室の美化に努め、整理整頓を心掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な介護サービスを提供するため、居室に不要な物を置かないよう整理する。 | <p>※常に整理整頓を心掛け美化に努めた。</p> <p>※利用者の動線に障害物がないよう安全確保に努めた。</p> |
| 花の都 | <p>1. 身体の清潔保持と感染予防の徹底。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔な衣類を身に着け、おむつ交換の際は身体の変化を観察する。 ・一行為一手洗い、消毒を徹底する。 ・職員の体調管理に努める。 | <p>※汚れのないよう衣類のチェックを行い、必要があれば速やかに対応した。</p> <p>※一行為に限らず、小まめな手洗いを励行し消毒も行った。</p> <p>※自己管理に徹して体調管理に務めた。</p> |
| | <p>2. 安全で安定した生活を送る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット職員他職員と情報を共有し、統一した介護の提供に努める。 ・他職種との連携を徹底する。 | <p>※食事、排泄ともに他職種との連携を図ることで利用者一人一人の状態に合わせて介護することができた。</p> |
| 森の都 | <p>1. 身体の清潔保持と感染予防の徹底。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い消毒を徹底し感染を防ぐ。 ・入浴介助、おむつ交換を通し、身体の変化を観察する。 ・常に清潔な衣類を身に着ける。 ・職員の体調管理に努める。 | <p>※入浴やおむつ交換を行う際は状態把握に努め、清潔保持、感染予防に努めた。</p> <p>※職員も体調管理に努め、感染媒体にならないよう努めた。</p> |
| | <p>2. ADL（日常生活動作）低下の防止に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションや機能訓練への参加を促し、コミュニケーションを図る。 ・ケアマネージャー、看護職員、管理栄養士、生活相談員と情報を共有し、体調管理に努める。 | <p>※ユニット行事に参加を促し、コミュニケーションを図れるよう努めた。自分で行えることは極力自分で行っていただき、ADL低下防止に努めた。</p> <p>※各部署と連携を図り、情報共有し対応した。</p> |
| 空の都 | <p>1. ADL（日常生活動作）低下の防止に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャー、看護職員、管理栄養士、介護職員各部署で情報を共有し体調管理に努める。 ・常に声かけをし、コミュニケーションを図る。 ・レクリエーション等に積極的に参加を促す。 | <p>※入所者の体調観察に努め、情報を共有し状態に合った対応を行った。</p> <p>※声かけを多くし、コミュニケーションを図った。</p> |
| | <p>2. 身体の清潔保持と感染予防の徹底。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一行為一手洗い消毒を徹底する。 ・おむつ交換入浴介助を通し身体の変化を観察する。 ・職員の体調管理に努める。 | <p>※一行為一手洗い消毒を徹底し、換気を心掛け感染予防に努めた。</p> |

令和 3 年 度 事 業 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

| | | |
|------|---|--|
| 運営方針 | 利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、心身の状況に応じた介護を行い、「安全そして安心」で安らぎのある生活を送ることができるよう支援するとともに、地域に貢献し信頼され選ばれる施設であるよう努める。 | |
| | 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| | <p>1. サービス利用時の不安を軽減し、安心してサービスが利用できるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族の生活状態を理解、把握し短期入所計画書の作成を行い、利用者や家族が必要とするサービスを提供する。 ・利用者一人一人に合った声かけや対応等を行い、不安が少なくなるような環境作りに努める。 ・利用者の身体、精神状況に合わせた介護、在宅生活の継続性を意識した質の高いサービスを提供する。 | <p>※新型コロナウイルス感染の不安を軽減できるよう飛沫防止ボード設置や検温、マスク着用などの感染防止対策に努めた。</p> <p>※声かけや座席の工夫、介護援助を行い、安心して利用できる環境作りに努めることができた。</p> <p>※利用者の状態に合わせ、その都度短期入所計画書を変更・作成し、在宅生活を意識したサービス、利用者や家族が必要とするサービスの提供ができた。</p> |
| | <p>2. 利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所と連携を図り、多くの地域利用者に利用して頂けるよう努める。 ・苦情発生時には、迅速に誠意を持って対応し、改善対策を検討し再発防止に努める。 ・不安や悩みを気軽に相談できる環境を作り、適切な助言、援助を行えるよう努める。 | <p>※苦情発生時には誠意を持ち対応するよう努めた。</p> <p>※利用者や家族とコミュニケーションを図り、気軽に相談できる環境作りに努めた。相談があった場合、助言や援助をすることができた。</p> |
| | <p>3. 事故予防及び再発予防に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況とハード面における危険箇所を把握し、事故を予防して安全に生活して頂く環境をつくる。 ・事故予防、防止の知識・技術力の向上に努める。 ・利用者の情報を共有化し事故防止に努める。 | <p>※利用者の状態や危険箇所の把握を徹底し、事故の予防に努めた。</p> <p>※事故検討委員会を開き事故予防、事故防止の知識・技術力の向上に努めた。</p> <p>※新規利用者や身体状況に変化がみられた利用者には介護職、看護職、居宅介護支援事業所等と連携を図り情報を共有しながら事故防止に努めた。</p> |
| | <p>3. 給食</p> <p>健康の維持・増進のため利用者への適切な食事提供に努める。</p> <p>個々の生活の質の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食態などを考慮し食事提供をする。 ・個々の嗜好に合わせて代替食を提供し、月 2 回の行事食などから季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 | <p>※利用者の健康状態により適切な食事の提供に努めた。また、嗜好に合わせた代替食を提供し、月 2 回行事食を実施することで、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただけるように努めた。</p> |

令和 3 年 度 事 業 報 告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘

(地域密着型通所介護事業・介護予防日常生活支援総合事業)

| | | |
|------|---|---|
| 運営方針 | 在宅の要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。 | |
| | 重点目標 / ・実施計画 | ※事業報告 |
| 1. | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減 ・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 ・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。 ・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。 ・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> ※家族や居宅介護支援事業所と連絡を密にし、利用者が希望し必要とするサービスの提供に努めた。 ※利用回数の見直しや、送迎時間の調整等に努めた。 ※カレンダー作成や菜園活動など、季節感を感じられる行事を実施した。 ※毎日のミーティング、月 1 回定期的にカンファレンスを行い、変化があった利用者への職員間での対応の共有を図った。短期目標に対して半年に 1 度評価を行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し利用者の状態に合ったサービスの提供に努めた。 |
| 2. | <ul style="list-style-type: none"> ・研修等への積極的な参加 ・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ※動画配信による研修会に参加し、知識及び技術向上に努めた。 |
| 3. | <ul style="list-style-type: none"> ・苦情処理の対応 ・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ※利用者や家族からの要望は送迎時での聞き取りや利用者手帳により確認し、朝のミーティングで情報共有し対応した。居宅介護支援事業所等との連携を密に図り苦情につながる事がないように努めた。 |
| 4. | <ul style="list-style-type: none"> ・事故対応 ・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ※事故発生後は速やかに対処し解決に努めた。同時に、シュミレーションを実施して対策を考え再発防止に努めた。 |
| 5. | <ul style="list-style-type: none"> ・給食 ・健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 ・個々の生活の質の向上に努める。 ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食態などを考慮し食事提供をする。 ・個々の嗜好に合わせて代替食を提供し、月 2 回の行事食などから季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ※利用者の健康状態により、適切な食事提供に努めた。また、嗜好に合わせた代替食を提供し、月 2 回行事食を実施することで、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただけるよう努めた。 |

令和3年度 事業報告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘

(認知症対応型通所介護事業・介護予防認知症対応型通所介護事業)

| | | |
|---|---|--|
| <p>運営方針</p> | <p>認知症の診断を受けている要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。認知症に対する専門的な知識・対応を用いて症状の緩和・進行予防に努め、その家族等介護者の相談に対応していく。</p> | |
| <p>重点目標 / ・実施計画</p> | <p>※事業報告</p> | |
| <p>1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 ・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。 ・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。 ・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。 | <p>※家族や居宅介護支援事業所と連絡を密にし、利用者が希望し必要とするサービスの提供に努めた。</p> <p>※利用回数の見直しや、送迎時間の調整等に努めた。</p> <p>※カレンダー作成や菜園活動など、季節感を感じられる行事を実施した。</p> <p>※毎日のミーティング、月1回定期的にカンファレンスを行い、変化があった利用者への職員間での対応の共有を図った。短期目標に対して3か月に1度評価を行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し利用者の状態に合ったサービスの提供に努めた。</p> | |
| <p>2. 研修等への積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。 | <p>※動画配信による研修会に参加し、知識及び技術向上に努めた。</p> | |
| <p>3. 苦情処理の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。 | <p>※利用者や家族からの要望は送迎時での聞き取りや利用者手帳により確認し、朝のミーティングで情報共有し対応した。居宅介護支援事業所等との連携を密に図り苦情につながる事がないように努めた。</p> | |
| <p>4. 事故対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 | <p>※事故発生後は速やかに対処し解決に努めた。同時に、シュミレーションを実施して対策を考え再発防止に努めた。</p> | |
| <p>5. 給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 ・個々の生活の質の向上に努める。 ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食態などを考慮し、食事提供をする。 ・個々の嗜好に合わせて代替食を提供し、月2回の行事食などから季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 | <p>※利用者の健康状態により、適切な食事提供に努めた。また、嗜好に合わせた代替食を提供し、月2回行事食を実施することで、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただけるよう努めた。</p> | |

令和3年度 事業報告

施設名：居宅介護支援事業所 聖徳荘

(居宅介護支援事業)

| | | |
|---|--|--------------|
| <p>運営方針</p> | <p>在宅において、利用者一人一人が安心してその人らしく暮らせるよう自立支援に努めるとともに、家族へのサポートも大切にする。</p> | |
| <p>重点目標 / ・実施計画</p> | | <p>※事業報告</p> |
| <p>1. 居宅サービスが円滑に提供できるよう、居宅サービス提供事業者及び利用者のかかりつけ医師との連携を図る。 ・関係機関やかかりつけ医師との連携を密にとる。</p> | <p>※医師や関係機関等へ情報提供を密に行い、連携をとるよう努めた。</p> | |
| <p>2. 個別のニーズに対応し、その人らしさを組み入れた居宅サービス計画を作成する。 ・ニーズに応じたサービス計画書の作成。</p> | <p>※利用者・家族の視点になり各事業所と連携を図り、ニーズに応じた居宅サービス計画の作成ができた。</p> | |
| <p>3. 多様なニーズに応えられるよう研修会等へ参加し、資質の向上に努める。 ・研修会等へ積極的に参加し、他事業所との意見の交換を図る。 ・利用者及び家族が不安なく在宅で生活ができるよう援助する。</p> | <p>※研修の参加はなかったが、他事業所との意見交換を密に図り資質向上に努めた。 ※安心して相談できる環境作りに努めた。</p> | |

| 〔研修会参加一覧〕 | | | 社会福祉法人 以和貴会 -令和3年度事業報告- | | | | |
|-----------|-----|-------------------|---|--|----|------|--------------|
| No. | 期間 | | 研修名 | 主催 | 部署 | 出席人数 | 職種 |
| 1 | R03 | 06月01日～ 06月30日 | 令和3年度機能訓練担当者研修会 「トランスファー 当たり前だけど新しい 視点」(動画配信) | 一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会 | 特養 | 14 | 看護員・介護員 |
| 2 | | 06月23日 | 令和2年度福島県介護支援専門員 専門研修Ⅱいわきコース | 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 | 特養 | 1 | 介護支援専門員 |
| 3 | | 07月04日 | 福島レクリエーション・インストラクター 養成講習会 | NPO法人 福島レクリエーション協会 | デイ | 1 | 介護員 |
| 4 | | 07月18日 | 福島レクリエーション・インストラクター 養成講習会 | NPO法人 福島レクリエーション協会 | デイ | 1 | 介護員 |
| 5 | | 10月21日 | 令和3年度 安全運転管理者等講習会 | 福島県公安委員会 (社)福島県安全運転管理者協 会 | 特養 | 1 | 施設長 |
| 6 | | 10月27日 | いわき市住民支え合い活動づくり事業「内 郷地区第2層協議体」第10回会議 | 社福) いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会 | 特養 | 1 | 施設長 |
| 7 | | 11月01日～ 11月30日 | 動画配信研修会(令和2年度分) (認知症の中核症状と行動・心理症状) | 一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会 | デイ | 7 | 生活相談員 介護員 |
| 8 | | 11月01日～ 11月30日 | 令和3年度 生活相談員研修会(動画配信) | 一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会 | 特養 | 1 | 統括主任生活相談員 |
| 9 | | 11月01日～ 11月30日 | 令和3年度 生活相談員研修会(動画配信) | 一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会 | デイ | 2 | 生活相談員 |
| 10 | | 11月01日～ 11月30日 | 令和3年度 給食担当職員研修会(動画配信) | 一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会 | 特養 | 1 | 管理栄養士 |
| 11 | | 12月01日～ 12月31日 | 令和3年度 医務担当職員研修会(動画配信) | 一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会 | 特養 | 6 | 看護員 |
| 12 | | 12月06日 | 令和3年度福島県社会福祉法人経営並びに全国社会 福祉法人経営者協議会との共催セミナー(WEB) 「SDGsと社会福祉法人」 | 福島県社会福祉法人経営者協議会 全国社会福祉法人経営者協議会 | 特養 | 1 | 施設長 |
| 13 | | 12月06日～ 12月07日 | 令和3年度福島県介護支援専門員 再研修・更新研修(実務未経験者) | 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 | 特養 | 1 | 主任介護員 |
| 14 | | 12月08日 | 令和3年度 社会福祉施設栄養士研修 (オンライン研修) | 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 | 特養 | 1 | 管理栄養士 |
| 15 | | 12月13日～ 01月17日 | 令和3年度 県老協・施設部会・在宅部 会いわき支部職員合同研修会 「成年後見制度について」YouTube | 福島県老人福祉施設協議会 特養部会 いわき支部 在宅部会 いわき支部 | 特養 | 1 | 統括主任生活相談員 |
| 16 | | 12月15日～ 12月16日 | 令和3年度福島県介護支援専門員 再研修・更新研修(実務未経験者) | 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 | 特養 | 1 | 主任介護員 |
| 17 | R04 | 01月01日～ 01月31日 | 動画配信研修会(令和2年度分) (施設における”看取り”を考える～生活 の延長線にある看取りケア～) | 一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会 | 特養 | 6 | 看護員 |
| 18 | | 01月19日 | 新型コロナウイルスのオミクロン株への感 染対策に係るWeb研修会 | 福島県高齢福祉課 | 特養 | 1 | 施設長 |
| 19 | | 02月07日 | 令和3年度 介護報酬改定関連(加算のとり方等) (オンライン研修) | 公益財団法人 福島県栄養士会 | 特養 | 1 | 管理栄養士 |
| 20 | | 02月16日 | 高齢者施設における新型コロナウイルス感 染症のクラスター対応に係る緊急Web研修 会 | 福島県高齢福祉課 | 特養 | 1 | 施設長 |
| | | | | * 合計 | | 50名 | |
| | | | | * 内訳 | 本部 | 0名 | |
| | | | | | 特養 | 39名 | |
| | | | | | デイ | 11名 | |
| | | | | | 居宅 | 0名 | |